

幼児教育研修（新人） 第1回 受講者数 159名

日時 令和4年8月25日（木）～令和4年9月8日（木）

場所 オンデマンド配信

講師 日本体育大学 児童スポーツ教育学部 教授 齊藤 多江子 氏

【内 容】 ～保育の基本～

オンデマンドでの講義を通して、保育の基本を学びました。児童福祉法や保育所保育指針にある子どもの最善の利益を考え、子どもを権利の主体として捉えて保育をすること、日々の保育の中で自分を振り返り改善していくことが大切になります。主体性を尊重することは子ども理解に基づいた一人一人への関りや保育環境を整えるということが子どもの主体性を尊重することにつながります。

【受講者の感想】

* 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

- ・今まで以上に子どもの権利のこと、個として尊厳を持つことを意識し、保育をしていかなければと感じた。
- ・幼児期でも一人一人を見ていくことで、特性を知り、思いに耳を傾け、園児に寄り添って安心して過ごせるようにしていきたい。
- ・「一人一人の子どもに寄り添い尊重することの大切さ」「適切な人間観、子ども観は保育者にとって重要な資質の一つ」を意識して保育を行う。忙しさの中での対応を反省する機会があり、自分の中での固定概念があったのではと自分の保育を振り返るきっかけとなった。
- ・子ども一人一人と深くかかわり「個」の育ちを支えていきたいと思う。その時の状況によって変化する子どもの思いに耳を傾けしっかり寄り添えるような保育者になりたいと感じる。一人の保育者として「温かい保育」を大事にしていきたいと思う。
- ・子どもと関わっていく中で信頼関係を築いていき子どもが安心して過ごせる環境を作っていく。子ども自身がやりたいと思うことを実現できるように、保育者間で様子を伝え合い共通認識の中で子どもたちがのびのびと過ごせる環境を作っていく。
- ・個の育ちが集団の育ちにつながることを意識して一人一人の成長過程を考慮してかかわっていきたい。
- ・子どもによって異なる思いや感じ方を理解し、子どもの言葉にならない思いや意欲に気付けるように丁寧に一人一人を見取っていく。さらに段階を考えながらその子に必要な援助や環境を変え継続していく。
- ・自分事情にならないように気を付ける。また、介助や援助などいきなりやるのではなく、言葉がけをしてから行うようこれからも心掛ける。
- ・一人一人の興味や発達、生活のリズム、ベースを見取り、環境を整えたり、その子に合った生活が送ることができる配慮していく。一斉に動くのではなく一人一人の子どもが安定し、自分のしたいことを十分楽しめる環境を大切にする。